



グリーンレター Green Letter

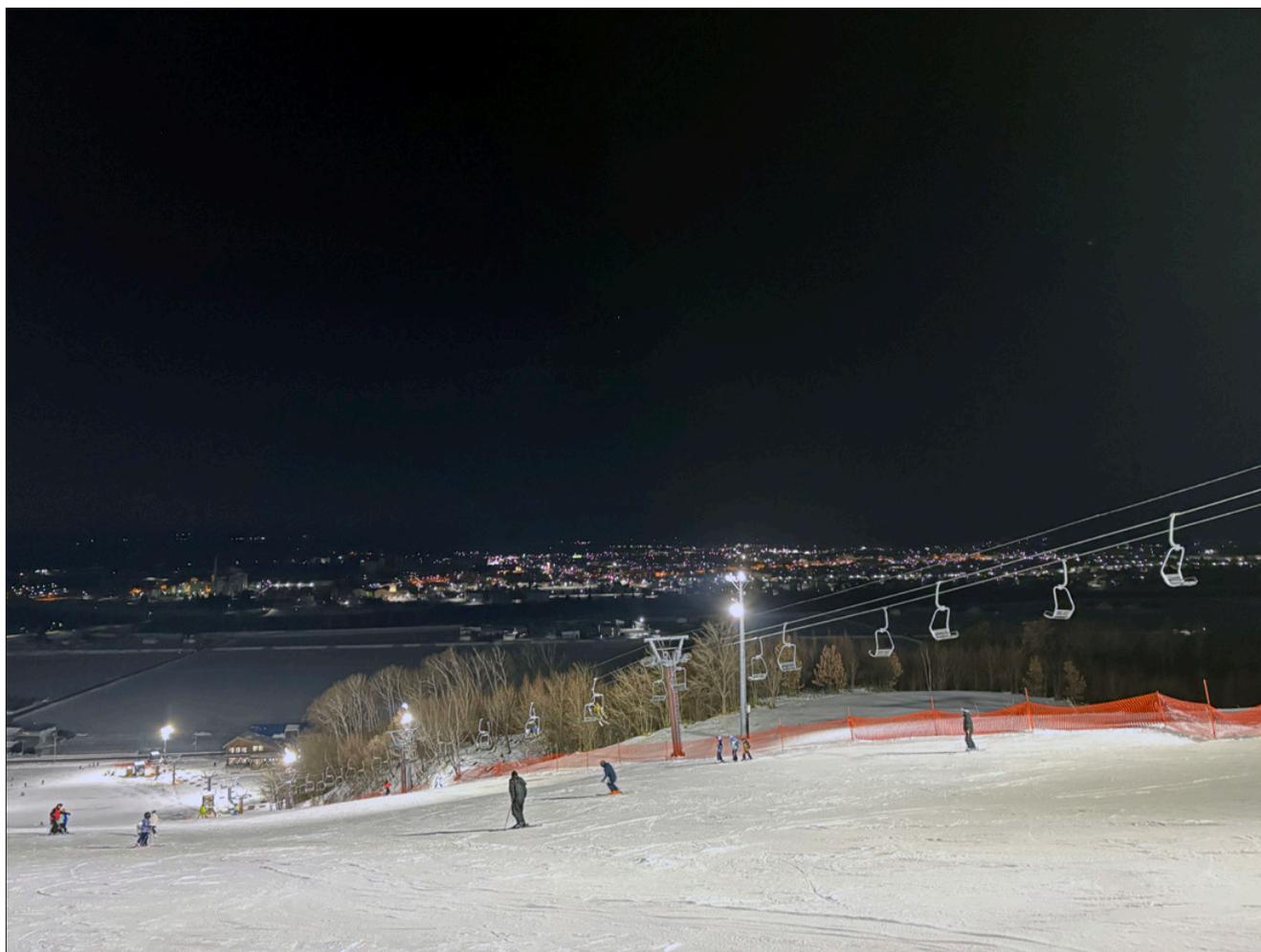
Green Column グリーンコラム

01 御殿飾りのあるひな人形

02 シラカンバとダケカンバ

Vol.331

2025/02/01



八重柏誠 《美幌百万ドルの夜景》

Photo 今月の1枚

空気が澄んでいる冬は遠くまで見渡すことで、普段気づかない素敵な風景に出会うことができます。美幌町ではリリー山スキー場からの景色が素晴らしく、昼間であれば知床連山を望むことができ、夜には宝石を散りばめたような素敵な夜景を眺めながら、スキーを楽しむことができます。冬の運動不足解消も兼ねて、皆さんもスキーに挑戦してみたいはいかがでしょうか？（八重柏誠）



01 Green Column グリーンコラム

御殿飾りのある ひな人形

写真・文／八重柏誠

昨年、寄贈を受けた資料のなかに、珍しいひな人形がありました。7段飾りのひな人形ですが、最上段に立派な御殿が付属しています。これは、関西方面で流行した御殿飾りのあるひな人形です。

豪華なひな人形が作られるようになったのは、江戸時代以降です。関東周辺では、様々な添え人形や付属の道具類の登場によって、次第に多段化していきました。一方、関西方面では、京都御所の紫宸殿（ししんでん）を模した御殿の中に、人形を配した御殿飾りのひな人形が流行しました。明治～大正時代になると、屋根が付いた御殿が作られるようになり、細部についても細かく再現され、豪華な造りのものが登場します。

今回ご寄贈いただいたものは、昭和30年代前半に購入されたひな人形とのことでした。関東式の7段飾りの最

上段に御殿が配されたもので、屋根にシャチホコが見られることから、東海地方で作られたものと考えられています。関東の段飾りと関西の御殿飾りが融合したひな人形と呼べるかもしれません。

とても豪華な御殿のあるひな人形ですが、複雑な作りであることや収納が不便なこと、関東の7段飾りのひな人形が関西方面でも流行したことから、昭和30年代末には、その姿は消えたといわれています。

珍しい御殿飾りのあるひな人形は、2月9日から始まるロビー展「ひなまつりとひな人形」で引き続き展示いたします。珍しい御殿飾りをぜひご覧ください。

シラカンバと ダケカンバ

写真・文／城坂結実



昨年10月、屈斜路カルデラトレイル(KCT)が開通しました。津別峠から美幌峠、さらには藻琴山まで歩くことができる、全長約25kmの自然歩道です。雄大な屈斜路湖を眺めることができる他、立ち枯れたエゾマツが並ぶ林や、幹が苔むした広葉樹の森など、多様な自然風景を楽しむことができる歩道となっています。きっと今後、多くの方に利用されることでしょう。

屈斜路カルデラトレイルを歩いていると、シラカンバとよく似た、幹の白いダケカンバという樹木を見ることができます。ダケカンバは、シラカンバに比べて標高が高い場所に生育するので、美幌町の市街地ではお目にかかれない樹木です。

外見がよく似ているシラカンバとダケカンバですが、見分け方のコツをご紹介します。まず、ダケカンバは

幹が肌色がかっており、よく樹皮がめくれています。また少し上級者向けですが、枝の先まで黒いのがシラカンバで、ダケカンバはあまり黒くならない、という見分け方もあるようです。

ここまでの見分け方では、いまいち違いが分からない……という時は、葉と果実を観察してみましょう。ダケカンバはシラカンバより葉の脈の数が多いので、脈の間が詰まっているように見えます。さらに、秋に果実を見ると最も違いがわかりやすく、写真のようにダケカンバの果実は横か上を向いており、シラカンバのように下に垂れ下がりません。

屈斜路カルデラトレイルは、長い道のりです。こういった樹木の観察も、楽しいひと時になるかもしれません。

Exhibition 展示

企画展「～美幌町の小中学生による～博物館冬季作品展」

2月1日(土)～3月2日(日)

ロビー展「ひな祭りとひな人形」

2月8日(土)～3月2日(日)



Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

スノーシューレンタル

3/30(日)まで 9:30～15:00

美幌博物館 受付・無料

対象/ご本人あるいは同伴者にスノーシューの使用経験がある方、
靴のサイズ 24.5cm～28.5cm (18才未満は保護者同伴)

申込み/申込み不要。各日先着 5名。

プチ工房「サンキャッチャー」

2/7(金)、8(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館 1階 講座室・300円

講師/町田善康(美幌博物館)

対象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

申込み/申込み不要

プチ工房「化石発掘体験」

3/7(金)、8(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館 1階 講座室・300円

講師/町田善康(美幌博物館)

対象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

申込み/申込み不要



送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越などでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどの
ご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。



Tweet つぶやき

昨年秋に、美幌博物館の展望デッキの照明がLEDになり、とても明るくなりました。日暮れの早い冬季でも、安心して展望デッキに上れるようになりました。日暮れ時に網走川の対岸から美幌博物館を見たところ、ピカピカと輝き、まるでUFOのようでした。(城坂結実)



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館
【デザイン】城坂結実
【編集】城坂結実・八重柏誠
【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002
北海道網走郡美幌町字美禽 253-4
Tel. 0152 (72) 2160
Fax. 0152 (72) 2162

